

## エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

### ■2022年10月

エフエム八ヶ岳 10月の番組審議会の議題は、開局以来の長寿番組「馬の街でギャロップ」(木曜 12時・18時放送)です。獣医の資格を持つホース・コーディネータの大豆生田真弓(おおまめうだ・まゆみ)さんをMCに、北杜市の馬文化の継承を目的に、馬周辺の歴史や最新事情を話題にしています。6月と8月の放送内容について審議委員6名の主なご意見、ご感想は次の通りです。

- ・他の地域より多く飼われている北杜市の馬を題材にした地域密着型の番組として親近感が持て、楽しく聞くことができた。
- ・コミュニティ放送らしい番組で、時間も15分でエッセイ風で聞きやすい。
- ・昼時にゆっくり聞くのによいと思う。MCやゲストの方の声の質も落ち着いていて、ゆったりとした気分になる。
- ・馬のいななきのオープニングが楽しく、二人が井戸端会議のような雰囲気の中で、しっかりとコアのある話をされていて、質の良い教育番組を聞いているようなお得感が味わえた。
- ・途中の音楽「ウチのワンコ」はとても軽快で楽しい曲だった。
- ・馬糞を肥料に使うという話は、農家が多い北杜市にはぴったりで感心し、肥料高の今日、馬糞の効能や他の家畜の糞についても興味を持てた。
- ・ゲストとの会話が世間話風で、そこに自分もいるような錯覚を覚えた。絵馬の話、馬頭観音の話、昔のお祭りの話、ボストン美術館の話、道祖神の話、馬の蹄の話など、話題が多岐にわたっていたが、どれもうなずけるような話で、こういう文化を後世に残すことは大切だと思った。
- ・大豆生田さんの素人っぽい語り方に好感が持て、動物に対する愛情が感じられた。
- ・メールや手紙を通したリスナーとのコミュニケーションや臨場感ある現場での収録など、変化をつけてみるのも良いかもしれない。
- ・馬頭観音の話は興味を持って聞いた。北杜にはあちこちに馬を供養する石碑や馬頭観音が見られる。馬とともに歩んできた北杜の人々の歴史やこれからも馬と一緒に生活していく楽しい話を聞かせてもらえる番組になるよう期待している。